



# 辻川だより

発行 辻川区 [辻川公民館]  
〒679-2204 福崎町西田原 1227  
TEL 0790-22-5763  
ホームページ [http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public\\_html/](http://www10.plala.or.jp/tujikawa/public_html/)

第24号 [2012冬号] 平成24年12月1日発行

6日 16:30 新調された

木方と棒端の法被 ↓



6日 8:20 稲穂の実りの中を ↓  
新調された天幕と三段布団が輝く



たいと思えます。

11月18日 辻川山短歌の森植栽 ↓



防火意識について



7日 23:00 乗り子と青年団集合 ↑



6日 13:20 区長指相撲対決 ↑

この火災事故によって大きな課題を投げかけられたような気がします。常日頃から気を付けてはいるものの、あらためて火事の恐ろしさを知られました。事故後、直ちに地元消防団にも再度消防器具と消火栓の再点検の指示をし、消防団も自主的に夜警をしてくれましたが、地域においても、みなさんと共に今一度防火について考えてみたいと思っています。これからは火を使う機会が多くなる時期をむかえます、まずはみなさんの家庭から防火の意識を高めていただき、「いのちと財産」を守る取り組みをして頂きたいと思えます。

区長 釜坂道弘

## 協議員会は今

9/11月の協議員会での報告・検討内容を一部紹介する。

- ① 今年の秋祭りについて（区としての組織と方針確認）
- ② 町内会費・協力金・地租割りの徴収について
- ③ 来年度事業に関して各隣保・各種団体から提出された要望（11月8日提出締切）を検討
- ④ 今回の協議員改選については現規約通りとし、その選出方法については次期改選に向けて継続審議とする。
- ⑤ 消火栓使用訓練について
- ⑥ 来年度、鈴の森神社境内の玉垣修築について推進委員会を立ち上げ進める。
- ⑦ 来年度、辻川区を「地縁団体としての法人」にすべく、その是非を検討する委員会を立ち上げ、調査に入る。
- ⑧ 10月末、フワフワポットの植替え用に葉牡丹80株

## 3面のOPEN

- 12月2日（日）9:00～  
消火栓消火訓練
- 1月20日（日）13:30～  
平成25年度辻川区総会
- 1月26日（土）19:30～  
新隣保長会議

## 祭礼行事のお知らせ

- ◆ 1月1日・2日  
宮当番「十二隣保より」
- ◆ 正月祭り（鈴の森・高藤稲荷神社）  
1月6日（日）10時～30分  
冬えびす（鈴の森 恵美酒神社）  
一戸あたり2000円の費銭を  
お願いします。
- ◆ 1月13日（日）15時  
とんど（鈴の森・高藤稲荷神社）

## 事業未報告

9月22日（土）

- ◆ 9月22日（土）  
隣保長・各種団体役員会議
- ① 消防団による消火器具・消火栓の点検。特に、最近新設された消火栓は従来の方法では開けるのが困難なため、その設置箇所の確認を。「意見」各家庭に設置が義務付けられている住宅用火災警報器の普及を区並びに消防団として啓蒙してほしい。
- ② 敬老の日の祝い金は三千元（町から二千元、区から千円）を対象者に配付
- ③ 秋祭り実行委員会構成・運行予定等説明
- ④ 地域の夢推進事業（今年度の辻川界隈美装化工事）
- ⑤ 9/11月行事・事業確認

## 9月23日（日）道普請

秋祭りに向けて区内がきれいになった。併せて雲津川と上井用水（堰溝）の草抜きや藻切りも行われた。

22日の消防OB会による鈴の森神社周辺の下刈り、30日は雨天の中、青年団や祭練会によるしめ縄張り、翌1日の夜にはやつこ会によって職が立った。・・・地域住民みんなでつくる秋祭りは楽しい。雨にも負けず準備が進む。

## 10月6日（土）秋祭り

7日（日）  
体育の日が2000年から十月第二月曜日になったことから今年の日程は、これ以上早くなることはない6日・7日（ちなみに来年は12日・13日）で近年では最も遅くなる。

宵宮は少し雨がばらついたが運行には全く支障はなく、本宮は祭り日和の暑くて熱い一日となった。本宮宮入③番は近年ではこれまた最も早かった（過去5年は⑤→④→⑦→⑧→⑤番）。宮出のフィナーレを飾る田尻・大門との三台練りは夕闇に包まれ幻想的でもあった。さて、今年の秋祭りを少し振り返ってみよう。肩合わせは、予定の9月30日が雨天中止になったものの大鳴らしの4日夜に決行。乗り子の練習仕上げを楽しみながらの肩合わせは機運を盛り上げる効果があった。区内のしで飾りを取り止め、幟の花飾りや提灯飾りも一部自粛したが、その真意は伝わらなかろうか。残念ながら台車付近での怪我が3件あった。大事には至らなかったが、お互いの声掛けを忘れていなかったか。練り方については相変わらず身長での棒割が課題か。今年も青年団「少女隊」が各休憩所での後片付けに大活躍した。献身的な裏方に感動する一方で、当事者の「練り子」が片付けをおろそかにする姿が目についた。すべての住民の秋祭りである。子どもたちの目をはじめ、多くの注目があふれることを忘れてないでいたい。そして何よりも多くの関係者の支えに感謝したい。最後に忘れてならないのは、鈴の森神社の宮入で新築なった山口堂に屋台差しを奉納したこと。井ノ口屋台にも奉納して頂いたことを記録に残す。

6日 12:05 鈴の森神社宮入→



6日 12:15 山口堂参道での屋 ↑

7日 14:00 郷社宮入→

7日 12:15 提灯の応急修理 ↓



↑ 7日 13:05 大門・北野と練る

7日 12:20 播但道高架下の食後の様子 ↑

↑ 6日 8:20 辻川山を背に集う老若男女

## 辻川山短歌の森公園の整備

消防OB・商工部会並びに協議員によって、山口堂参道北斜面（短歌の森）の遊歩道の両側にサクキとヤブコウジ、各百本が植栽された。

\* 山林に自生し、冬、常緑の葉の間に小粒の美しい紅色の実をつける。正月の盆裁にされる。



協議員としての任期を終えて

内藤政義 木枯らしの中あれもこれ  
もと思ひ出す。今年は運動会を始め  
色々なイベント、加えて山口堂の新  
改築と周辺の整備、また高藤稲荷の  
鳥居の建替えも出来、防犯街灯もし  
ED化が進みました。僣越ながら協  
議員の努力の賜物と感じています。

新見良一 振り返ればあつと言つて  
の十年間でした。この地に生まれ育  
てられ。そのうえ協議員の任期も全  
うでき、皆様に心より感謝申し上げ  
ます。今後は自己への投資・研鑽に  
努め、地域へも還元できるよう啓発  
に心がけたいと思っております。

釜坂好隆 十年一昔とよく言いま  
す。何の何の！今の時代の何と難  
しい事か。辻川区イヤ福岡町、めまぐ  
るしい変化を感じています。皆さん、  
時代に流されないように何とかとし  
いで行きましよう。ありがござい  
ました。新たな息吹に期待して。

金井年郎 二期4年間協議員をさせ  
て頂きましたが、この間皆様方には  
何かと協力を頂き本当にありがと  
うございました。次期につきまして  
は新たな方に協議員をやっていただ  
きたくお願い申し上げます。

松岡博子 2年間、皆様のご期待に  
添えなかつた事をお詫びいたしま  
す。貴重な体験をさせて頂き、充実  
の日々でした。ご協力有難うござい  
ました。辻川区の益々のご発展をお  
祈り申し上げます。

鈴木健文 協議員になって自分の無  
知さを痛感しました。歴代の役員さ  
んのご苦労と地区の皆さんの協力を  
援が、今この辻川区の円滑運営  
があることを改めて認識しました。  
井上良宣 この間、界隈展での懐か  
しの写真展など新たな取り組みも実  
施してきましたが、どうも事業に対

する区民の皆様の関心が薄いように  
感じました。次の協議員選挙では若  
手の登用や立候補を期待します。

山本英次郎 今期、協議員として微  
力ながら何とかやってきました。自  
治会の運営は住民の皆様協力なく  
しては遂行できないと感じました。  
多くの方々に協議員を経験して頂き  
たいと願っております。

川端一郎 智に働けば反対で、情を  
寄せると流され、意地を通すと嫌わ  
れる。とにかくこの役はやっかいだ  
(草枕まね語)。あとは、計画・実行・  
検証・反映と中長期課題をしっかりと  
やっつけてください。

田崎正和 「継続は力なり」とはい  
え、若干のゆとりと楽しむ気持ち  
がないと息切れします。協議員活動に  
は不可欠な要素のように思います。

# 辻川の道

4

## 郡役所時代 <その2>

〔明治十九年頃〜昭和前期〕

図1には柳田國男が学んだ  
昌文小学校(注5)(明治二十一年か  
ら昌文尋常小学校に改称)が見  
える。図2の田原尋常高等小学  
校3棟は現田原幼稚園の駐車  
場に位置する。明治四十一年に開  
校し、昭和十七年まで続いた。  
また、福岡高等女学校は前身の  
福岡実業学校から大正一三  
年に改称し、昭和三年の  
学制改革により福岡高等学  
校になるまで続いた。



昔は養老院入口にあった振武館記念碑

図2では現福岡町養護老人  
ホームの地に振武館が建つ。日  
露戦争(明治三十七〜三十八年)を  
記念して明治四〇年に建設さ  
れた振武館(注6)は、柔道、剣  
道、なぎなたなど各種武道の振  
興に寄与するのにも心身鍛  
錬の場として活用されていた。



昭和16年頃の振武館(神崎郡誌より)

振武館はまた公会堂も兼ね、  
「豚肉料理講習会」などの各種  
集会にも使われていた。  
左の写真は元松岡百貨店の  
西端にある「田原村道路元標」  
である。道路元標は旧道路法で、  
各市町村に一つ設置するよう  
決められていたとて、この道  
路元標は大正九年に位置が決  
まり、大正一一年にこの場所に  
据えられたものと考えられて  
いる。旧田原村内の道路の起点  
を示すものである。



田原村道路元標

図1の辻川郵便局は明治一  
五年に西田原郵便局として開  
設された。その後、明治二三年  
に辻川郵便局と改称している。  
大正一二年には旧道の北に三  
木家九代当主拙二が郵便局を  
新設(図2)し、電話交換を始  
めている。今では考えられない  
交換局を通じた電話であった  
が、福岡にも文明化の波がやっ  
つた(注7)。なお、神崎郡に電灯  
がついたのは大正十年前後だ  
そうだ。図1には銀の馬車道沿  
いに電信柱が見えるが、この電  
線は電信のみでまだ電話や電  
気を送る機能はないようであ  
る。



図1 明治24(1891)年発行

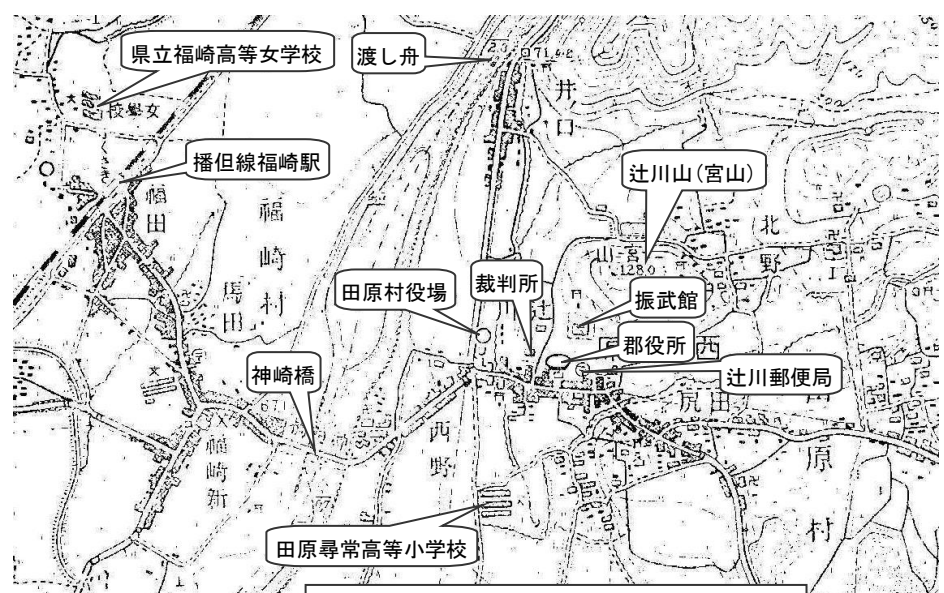


図2 大正期の辻川とその周辺(1926年発行)

### <参考文献 出典>

- ・福岡町史 第一巻・第四巻
- ・神崎郡歴史民俗資料館特別展 福岡町の文化財 平成一六年 福岡記(平成一八年度)
- ・福岡の道(平成一九年度)
- ・柳田國男著「故郷七十年」
- ・神崎郡誌(昭和一七年発行)

### 編集後記

辻川区のホームページでは  
「辻川だより」を1号から最  
新号まで紹介しています。十  
三隣保の岡田菫さんに手伝っ  
ていただき、やっとアップす  
ることができました。一度ご  
覧ください(アドレスは表面  
上端に)。「辻川区」で検索する  
方が早いと思います。

さて、「辻川の道」は、次号  
の「旧福岡町役場があった頃」  
で完結します。新開地が賑や  
かだった昭和三一年〜五〇年  
頃を振り返ります。(田崎)